

38歳 埼玉県議会議員

吉田よしのり

通信 第160号 2012年 夏秋号
新座市野寺2-8-48 (八石小学校となり)
電話 048-483-2777
FAX 048-483-2780
ホームページ <http://www.yoshiday.com>
メール saitama@yoshiday.com

【発行：民主党・無所属の会・県政へのご要望をお寄せ下さい！】

- 1974(昭和49)年7月27日、北海道生まれ(38才)。大阪府寝屋川市三井中央幼稚園、大阪市立新森小路小学校、西東京(旧保谷)市立青嵐中学校、板橋区立赤塚第三中学校、法政第一高校を経て、法政大学法学部を卒業。卒業後、野村證券に入社。横浜、青森支店等にて資産管理、営業課にて勤務。勤務中は、ファイナンシャルプランナー資格、アナリスト・経済・資格等も取得。
- 2000年2月、新座市議会議員に史上最年少、25歳で、市政始まって以来の3,855票でトップ当選。
- 2003年4月、埼玉県議会議員選挙に16,598票で2位当選。2007年4月、トップにて再選。
- 2011年4月、無投票にて三期目当選。現在、無所属、民主党を中心とする第二会派の副代表をつとめる。財政規律をしっかりと堅持し、今後のあるべき社会保障制度、教育制度について議論を展開している。
- 趣味は、水泳、ドライブ、野球観戦、登山、写真、お茶等。好きな言葉は「初心不可忘」「お前がやらずに誰がやる、今、やらずしていつできる」



県議会「防災プロジェクトチーム」を結成、研究、提言へ！！

東日本大震災発生から1年が経過しました。改めてお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、未だ避難生活を強いられている皆様、復旧復興が実現していない地域の皆様に対して心からのお見舞いを申し上げます。今後発生の可能性が高いとされる首都圏直下の大震災で尊い命を無駄にしないために、過去の災害によって得られた教訓をいかしていかなければなりません。



私の所属会派では、昨年の統一地方選挙直後から防災強化PT(プロジェクトチーム)を設置し、埼玉県の地域性を考慮した防災強化策について研究し、埼玉県に対してその成果を積極的に提言しています。昨年度の会派予算要望や所属議員による一般質問や各種委員会審議中の提案等により、数多くの提案内容が平成24年度の新年度予算に反映されました。

本PTの方針は、人命を守ることを第一優先に取り組んでいます。政治は、国民の生命と財産を守ることが重要なテーマです。防災分野は多岐にわたる課題が存在しており、ややもする

と焦点がぼやけがちです。火災をどう防ぐのか、食料や毛布をどれだけ備蓄するのか、避難をどうするか、支援物資をどう供給するか、復興をどうするか、どれも大切な課題だと思いますが、最も重要なのはどのように地震から命を守るかです。死亡したら防火も食料や毛布の備蓄も、避難場所の確保も、支援物資の供給も、復旧復興も全く意味をなしません。極論ですが命を長らえれば後はどうにかなるのです。

また、近づいている首都直下型大地震の埼玉の被害を想定し対策を講じる上で、津波被害の犠牲者が多い東日本大震災より、津波被害が全くなかった阪神淡路大震災を教訓にすべきと考えています。特に、阪神淡路大震災では、広範な分野にわたる詳細な被害調査が行われています。これを丁寧に分析することが、首都直下型大地震の減災につながるものと考えます。

阪神淡路大震災の死因の8割が家屋倒壊や家財道具横転による圧死、1割が火災による焼死です。未明発災で大多数が自宅被災され、芦屋市内の全壊家屋調査では新耐震基準以前の木造建物は50~75%倒壊しましたが、新耐震基準木造建物は10%程度にとどまりました。県内軟弱地盤立地の旧耐震木造建築物の耐震化が人命を守る最大の課題ととらえます。

埼玉都民と言われる都内勤務者が多数存在する本市において、帰宅困難者対策も大切な課題です。平成19年に策定した埼玉県地震被害

想定調査では、県内の地盤は、荒川と中川の流域が軟弱地盤とされ、地震による揺れが強くなる地域で家屋倒壊の可能性が高く、火災発生や延焼の確度も高くなります。埼玉都民とされる帰宅困難者が帰宅時に火に囲まれないようリアルタイムで情報提供をすることが必要です。



今後とも本PTでは、首都直下型大地震の発生が間近に迫っていることを念頭に、残された時間を無駄にすることなく人命を守ることを第一優先と考え、県民と行政のそれぞれが減災や災害対応能力を上げる具体的取組みについて優先順位を明確にさせながら提言して行く所存です。

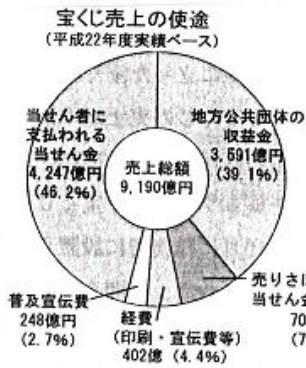
ご存知ですか？ 宝くじ！

皆さんは、宝くじはどこが発行しているかご存知ですか？

現在、宝くじは地方財政法などの法律に基づいて、全国66の全都道府県と全政令指定都市によって発売されています。

次頁・下図のように平成22年度ベースで、

全売上額が 9,190億円。うち、当選者に支払われる当選金は全体の約46%の、4,247億円。その他販売にかかわる経費などを除いた収益金が 3,591億円で、都道府県、政令指定都市にとって貴重な財源となっています。



この収益金は、災害対策や社会貢献活動、芸術文化振興等、様々な分野の事業に充てられており、埼玉県でも太陽光発電プロジェクトの推進や、放課後児童健全育成施設の整備、また、新座市内でも集会所の整備費用の一部に充てられています。

なお、宝くじにはジャンボ宝くじや、ロト6等、いくつかの種類がありますが、売上額自体は平成17年度の約1兆1,000億円をピークに減少傾向にあり、貴重な財源確保のため、自治体なども参加した「宝くじ活性化検討会」なるものが構成され、宝くじのさらなる普及のために議論がなされています。



写真上・新年度予算を審議する委員会では会派を代表して知事や教育長と議論しています。

県政報告配布ボランティア大募集!

吉田よしのり事務所では定期的に「吉田よしのり県政報告」を発行しています。毎月一回、ひばりヶ丘駅、志木駅、新座駅、朝霞台駅、東久留米駅頭で配布していますが、それ以外にも市内の全地域を対象に戸別配布も行っています。「お金をかけない政治」を目指す上でも、この配布作業をボランティアして下さる方を大募集しています!

ご近所・100世帯程度でも構いません!お散歩ついでに、お住まいの丁目だけでも構いません!ご協力いただける方がいらっしゃいましたら、是非!事務所にご連絡ください!

第四回 上田政治塾が開催される

6月に第四回目となる上田きよし埼玉県知事の主催する政治塾が開催されました。

この政治塾は政党間の垣根を超え、将来に必要な真の実力を持つ政治家を作り上げるという目的で、上田知事が中心となり作ったもので、毎回、様々な分野で活躍されている方がゲストスピーカーとして講演していただいています。

今回のゲストは前横浜市長で、現在、大阪維新の会率いる橋下市長に招かれ、大阪市特別顧問で活動している中田宏氏。また、低価格のファッションチェーンを牽引してきたスーパー「しまむら」前社長の藤原秀次郎氏。ほかにも教育界で活躍されている方など、多くの方からの講演を頂き、活発な意見交換もなされました。

藤原氏は日本の経営の素晴らしさを強調、もっと自信を持って日本的経営を世界に発信すべきだと主張、(例えばファッションなら流行など)それぞれの分野の気流を、肌で感じられるようにならなければリーダーには向かないなど、様々なご意見を頂きました。

私自身は政治塾の事務局を務めていることもあり、今回は司会を担当。懇親会等でも様々な意見交換がなされました。



最近では大阪維新の会の橋下市長が中心となり作った政治塾が話題となり、愛知や愛媛など、地方の首長でも次世代の政治家を育てることを目的に政治塾が作られています。上田政治塾はその走りとなる存在です。

石原東京都知事や橋下市長、また、愛知の河村市長など多くの繋がりのある上田知事とともに、私自身も色々今後の政局について、話をお聞きしている所ですが、流石に政治塾当日は、多くの報道関係の方も参加されており、政局の話は一切出ませんでした。

年内にも予想されている衆議院の解散とともに、地方政治を中心とした新しい政治の枠組みについて、今後の展開や考え方など、随時、ご報告して参ります。

吉田よしのり一行日記

- 6/2 上田きよし埼玉県知事政治塾・司会
- 6/3 新座福祉フェスティバル、都内にて会議
- 6/4-5 市役所・県議会にて打ち合わせ会議
- 6/6 埼玉県道路利用者会議陳情ほか
- 6/7 埼玉県社会労務士会政治連盟会合
- 6/8-9 県議会会議、日本学術会議研究会
- 6/10 朝霞地区四市神社氏子総代会ほか
- 6/11 埼玉県議会会派調整会議、懇親会等
- 6/12-13 県南西部地域調整会議、来客対応等
- 6/14-15 市議会議員後援会役員会ほか
- 6/16-17 日本公共政策学会研究大会
- 6/18 県議会本会議、新座市食品衛生協会
- 6/19 県議会議案調査、打ち合わせ等
- 6/20 県議会、新座市法人保育園視察ほか
- 6/21 県議会議案調査、会議打合せほか
- 6/22 県議会本会議、警察官友の会総会
- 6/23 民主党埼玉、常任幹事会、陳情委員会
- 6/24 比較政治学会研究会(日本大学)
- 6/25-26 県議会本会議、一般質問ほか
- 6/27 県議会本会議、市長選挙打合せ会議
- 6/28 県議会本会議、埼玉県健保組合陳情
- 6/29 市長選挙会合、県内首長との会合
- 6/30 新座市消防団県外視察同行
- 7/1 新座市ほたるの夕べ、町会祭り
- 7/2 県議会常任委員会、商工会青年部事業
- 7/3 県議会議案調査ほか
- 7/4 県議会・地方分権行政改革特別委員会
- 7/5 県議会議案調査、社会保険労務士会
- 7/6 県議会本会議・閉会
- 7/7 日本福祉学会研究大会
- 7/8 新座市長選挙告示日
- 7/9 市長選挙手伝い、事務所にて陳情対応
- 7/10-14 市長選挙対応、事務所対応ほか
- 7/15 新座市長選挙投票日
- 7/16-17 事務所陳情受付、事務処理
- 7/19 事務所陳情受け付け、県議会会議
- 7/20 県議会事務、打ち合わせ会議ほか
- 7/21 民主党常任幹事会、市内夏祭りほか
- 7/22 四市団体議員研修会
- 7/23-25 県議会・地方分権特別委員会視察
- 7/26 衆議院事務所、国会にて陳情受付他
- 7/27-28 市内地域訪問、夏祭り参加ほか
- 7/30 市内地域訪問、事務所打ち合わせ等